



れんげ草：東温市南野田

阿部聖裕前院長の退任(3月31日付け)に伴い、以下のように人事異動がありました。

院 長	船田 淳一(循環器内科)
副 院 長	久保 義一(消化器内科)：現任
統括診療部長	宮本 良治(整形外科)
臨床研究部長	伊東 亮治(呼吸器内科)

4月1日より、この陣容でこれまで同様、信頼される医療の提供と、地域に根ざした病院を目指して邁進して参ります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

関連記事：2～4頁

就任のごあいさつ

令和7年4月より愛媛医療センター病院長を務めさせて頂く船田淳一です。私は平成7年に旧国立療養所愛媛病院に赴任しました。途中、英国留学のため2年間不在でしたが、約30年間当院で循環器内科医として診療に当たってきました。転勤を繰り返すことが多い勤務医の世界において、同一病院で長期間診療に携わらせて頂いたことに感謝しています。振り返ってみますと、人当たりの良い医療スタッフと東温地区を中心として穏やかな性格の患者さんやご家族が多い環境に惹きつけられ年月が過ぎていったように思っています。



院長
船田 淳一

一方で、約30年間の間には病院名の改称、新病棟の建築、松山医療圏における救急2次輪番への参画、阿部前病院長を中心に対応された新型コロナウイルス感染症パンデミックや最近では医療のDX化への対応など、医療スタッフを取り巻く環境は大きく変化してきました。当院の役割としていわゆるセーフティーネット医療(重症心身障害者や結核患者さんに対する医療の提供)だけでなく、救急対応も含めた的確かつ迅速な医療を提供する必要性が高まっています。近隣の愛媛大学医学部附属病院、四国がんセンターや愛媛県立中央病院などの高度専門医療を提供する病院との連携は勿論ですが、地域医療に貢献されている一般開業医の先生方との間で東温・松山東部地区におけるHub(連携拠点)病院として機能することが当院の目標であり役割と考えています。

当院は外来・検査棟における老朽化の問題、外来棟と新病棟間の長い動線や84年の歴史に幕を降ろした附属看護学校閉校後の人材確保など対応すべき多くの課題に直面しています。簡単なことではなさそうですが、このような問題に対応することが病院長としての責務と思っています。帰国後、生活の一部となっている英語の格言で私の挨拶を締めさせて頂ければと思います。Your Attitude, not your Aptitude will determine your Altitude. 次の一步を踏み出すことにより変化が生まれると期待しています。これからも愛媛医療センターをよろしくお願いいたします。

就任のごあいさつ

この度、愛媛医療センター統括診療部長に就任いたしました宮本良治です。まずは、日頃から当院の診療にご理解とご協力をいただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

当院は、地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう、2次救急医療を中心に、地域医療に貢献してきました。しかし、医療を取り巻く環境は厳しさを増してきています。

今回、私は整形外科医であるにもかかわらず、当院の運営を担うこととなりました。正直なところ、自分に務まるのかという不安がないわけではありません。しかし、与えられた役割を全うするため、学びながら取り組んでいくしかないと覚悟を決めております。各診療科の先生方やスタッフと連携し、これまで以上にチーム医療を大切にし、各診療科の特性を尊重し、病院全体のバランスをとりながら、より良い医療を提供できるよう努力していきます。

当院では、急性期医療だけではなく、慢性心不全のリハビリ、結核治療、重心病棟やPOST NICUなど、慢性期疾患にも対応した幅広い医療を提供しています。急性期から慢性期まで対応できるのが当院の強みです。しかし、看護やリハビリなどの専門職の皆さんにとっては、幅広い知識や技術が求められています。医療の現場では、労働や勉強に追われがちですが、働き方改革が進む今こそ、プライベートの時間の重要性をいま一度考えてみませんか？リフレッシュすることで、判断力や対応力が向上し、より良い医療につながるはずです。

先日、私はアドラー心理学の本を手に取りました。その中に「共同体感覚」があります。自分が社会の一員として必要とされていると実感することで、他者を理解し、つながりを感じ、貢献しようとする意識が生まれるという考え方で、私たちも、それぞれが役割を持ち、互いに支え合うことで、大きな力を発揮できます。病院も同じで、職員全員が協力し合うことで、より良い医療を提供できるはずです。

引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆さまの健康と幸せを心よりお祈り申し上げます。



統括診療部長
宮本 良治

就任のごあいさつ

本年4月より臨床研究部長を拝命いたしました伊東亮治です。就任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

当部門は臨床研究や治験を担当しております。まず、これまで当部門を牽引してこられた前任の安原美文先生、並びに臨床研究、治験に携わるすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。私はこれまで呼吸器内科を中心に臨床研究、治験に取り組んでまいりましたが、今後は当部門のさらなる発展に尽力していく所存です。

臨床研究は、医学の進歩において不可欠な要素であり、患者さんにより良い診療を提供するための礎です。研究倫理を遵守するのはもちろんのこと、患者さんや社会との信頼関係の構築を大切にしながら、質の高い臨床研究を推進してまいります。

治験は、新しい治療法や医薬品の実用化を通じて多くの患者さんの未来を支える重要な役割があります。そのためには、安全性と倫理性を最優先としながら迅速かつ適正な運営が不可欠です。当院は治験に精通した薬剤師、看護師（治験コーディネーター）がそろっておりサポート体制が確立されております。担当医師と治験コーディネーターが密接に連携しより良い治験を行っております。

臨床研究、治験ともに患者さんの協力なくでは行うことができません。これからの新しい挑戦に向け、皆様のご支援をよろしくお願いするとともに臨床研究や治験を通して医療の未来に貢献できるよう全力で努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研究部長
伊東 亮治

地域の輪



南高井訪問看護ステーション

繋がる地域医療連携

当ステーションは、南高井病院を母体とし、平成8年1月に開設しました。現在、看護師7名・理学療法士2名・作業療法士2名・言語聴覚士1名が在籍しています。年齢層も幅広く、母性溢れるスタッフや、また会いたくなること間違いなしのやみつきスタッフなど、個性的な12名で活動しております。活動範囲は東温市から松山市・松前町・砥部町・伊予市と幅広く対応しています。看護師は24時間365日の対応が可能です。精神訪問看護も対応可能です。

「住み慣れた家で過ごしたい」という希望を少しでも叶えられるよう、スタッフ一同利用者様に寄り添う看護をモットーにしております。「桜が見たい」一緒に桜を見に行きました。「自分で靴下が履けるようになりたい」リハビリを懸命に頑張り、できるようになりました。少しでも希望を叶えられたら、こんなに嬉しいことはありません。時には悲しい別れがやってくることもあります。看取りはいろいろな迷

いや不安が出てきます。何が正解で何が不正解かという答えはなく、少しでも穏やかに日々過ごしていけるよう、一緒に考えて一緒に悩んで解決策を見出していくことを心がけています。もちろん、私たちだけでは不十分なこともありますので、主治医や他機関との連携がとても大切だと感じています。たくさんの方々と連携をとりながら、住み慣れた家でその人らしく生活ができるよう最大限のサポートをさせていただきます。



医心伝心

心不全と栄養失調の関係のおはなし

心不全（心臓病が原因で息切れ・全身のむくみを起こす症候群）と栄養状態は一見あまり関係がなさそうですが、近年の研究で慢性心不全患者さんの約60～70%が栄養失調であり、栄養失調があると心不全の予後が悪いと報告されています。栄養失調はサルコペニア（筋肉量の減少・筋力の低下・身体能力の低下）にも繋がります。慢性心不全患者が半年で7.5%の意図しない体重減少を認める状態を「心臓悪液質」と言い、とても予後が悪いです。若年の方は、食生活の欧米化・運動不足の影響でメタボ（肥満）が問題になることが多いのですが、高齢心不全患者さんの場合は、肥満より痩せの方がむしろ悪い（肥満パラドックス）と言われています。

栄養状態を良くするためには経口摂取（口から食べて、しっかり腸を動かす）が大事で、実は（末梢）点滴はほとんど栄養がありません。ただ、「どれく

らいの量」を、「どんな種類の物」を食べたら良いかは非常に悩ましいので、当院では管理栄養士が栄養状態をきちんと評価した上で、個別に指導しています。心不全患者さんは減塩食（うす味）が基本ですが、減塩にすることによって食欲が落ちてしまったり、血中のナトリウム値が低くなる状態（低ナトリウム血症）を起こして逆に体調が悪くなることもあります。心不全の方は食べているつもりでも腸がむくんで栄養が十分吸収されないなど、一筋縄ではいきません。

当院では心臓リハビリに力を入れ、専従の理学療法士が熱心に入院・外来患者さんの運動指導を行っています。運動で筋力を付けるためにも栄養状態を良くすることが必要であり、多職種で協力しながら心不全患者さんの治療や指導を行っています。

循環器内科医長 関谷 健佑





第19回 院内研究発表会

りく りよく きょう しん
戮力協心



令和7年2月25日に第19回院内研究発表会が開催されました。

今回は、看護部、薬剤部、リハビリテーション科、療育指導室、栄養管理室、医局から、合計9演題の発表がありました。当日は、それぞれの発表に対する質疑応答も行われて大変充実したものになりました。

発表は二つのセッションに分けて行われました。今回も奨励賞を設け、各セッションの座長に選定をお願いしました。奨励賞に選定された一つ目は、食事摂取等を拒否する患者の看護についての発表でした。カンファレンスを通じてスタッフ間で情報を共有し、ケアの統一を図ることで患者との信頼関係を築くことができ、看護の受容につなげる

ことができたとの発表でした。もう一つは、肺非結核性抗酸菌症の新しい治療薬の導入についての発表でした。外来で治療が可能である一方、導入までのハードルが高い治療方法を、多職種間での協力体制を構築することで導入していこうとする発表でした。当院では2024年8月から肺非結核性抗酸菌症センターが開設されており、これから必要性が高まる可能性のある領域に関する発表でした。

今回の院内研究発表会も、開催にあたって多くの方にご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

臨床研究部長 安原 美文



発表演題一覧



セッション1

1. 外国人結核患者の療養支援に関する課題の検討ー看護師のアンケート調査からー
2. 感染対策リンクナースの活動の現状と課題、部署責任者の現状
3. 内服と食事摂取を拒否する重症心身障害児(者)との関わりについて
4. 重症心身障害者病棟における身体拘束解除に向けた取り組み

セッション2

5. アリケイス(ALIS)導入における取り組み
6. CIDPを既往にもつ心大血管術後患者の経過
7. 成長発達期における児の夏あそびを実施して
8. 栄養情報提供始めました
9. 災害に強い地域づくりを目的とした支援者連携を目指した取り組み



医療安全 管理だより こんなことしています

窒息時の対応研修について

高齢患者さんは、疾患や病状に伴う嚥下機能の低下により誤嚥・窒息のリスクが高くなります。当院で

は令和5年度より①看護師全員が患者の状態変化を正しく予測する、②嚥下の客観的評価の知識を身に着けることを目標に誤嚥・窒息防止に取り組んでいます。具体的なこととしては摂食・嚥下フローチャートを作成し、入院時または食事開始時にフローチャートに沿って評価し、該当する患者さんに反復唾液テストを実施しています。取り組みを行った結果、誤嚥・窒息に関するヒヤリハット報告は昨年度に比べ1/4に減少しています。しかし、どんなに気を付けていても病状や機能の変化により誤嚥・窒息は発生してしまいます。今まで誤嚥・窒息を事前に予防する取り組みは行ってきましたが、実際に誤嚥・窒息が起きた際の対応についての取り組みはできていない現状がありました。

そこで今回トレーニング用の人形を用いて窒息時の対応についての研修を行いました。窒息に遭遇する機会は多くないため、人形を使用することで叩くポイントや圧迫する際の力加減など体感す

ることができ、イメージすることができました。参加者からは「人形を使用して上手くはできなかったが良い経験になった」「実際にすることで経験値が上がった」と言った感想が聞かれました。窒息の解除方法に限らず、技術は繰り返しトレーニングしなければ、必要な時に適切に実施できないため、今後も継続して研修が開催できるように取り組む必要があると思います。

医療安全部会 急変対応グループ
看護師 稲田 桜



四季燦餐 ～たけのこの巻～

草花が芽吹き、春の訪れを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

春の訪れを知らせてくれる食材といえば、皆さんは何を思い浮かべられますか。

山菜・新キャベツ・新玉ねぎ・新ジャガイモ・たけのこなど…。

今回は、旬の日本料理にはかせない、『たけのこ』について御紹介します。

たけのこは、「古事記」にも記述が見られるほど、古くから食べられていたようです。たけのこの種類は、約70種類ありますが、一般的な食用のたけのこは、孟宋竹（もうそうちく）の若芽のことをいいます。

たけのこは、部分によって硬さが違いますので、用途による使い分けをおすすめいたします。

- ・先端のやわらかい部分…酢の物やあえ物
- ・穂先…椀種・炊きこみご飯
- ・中央部…煮物・炒め物・揚げ物

たけのこは、たんぱく質が豊富で、ビタミンB1・B2・ミネラルを含みます。

- ・高血圧予防…わずかではありますが、カリウムが含まれていますので、体内のナトリウムを排出する効果があります。
- ・大腸がんの予防・便秘の改善…食物繊維が豊富に含まれているため、便秘の予防・改善だけでなく、大腸がんの予防やコレステロールの吸収を抑え、体外に出してくれる効果があります。
- ・疲労回復…うまみ成分の一つであるアスパラギン酸は、疲労回復に効果があります。

春の訪れを感じながら旬の「たけのこ」に舌つづみ…なんていかがでしょう？

※治療中の方は、主治医に確認されることをおすすめいたします。



看護衣リニューアル

日勤用



夜勤用



令和7年度より看護師の看護衣がリニューアルします。

今年度始めより、看護職員へのアンケート調査を行い、デザイン・色を決定しました。

上着は、動きやすいスクラブのシャープな印象と襟付きチュニックのきちんと感を併せ持つハイブリッドウェアタイプであり、パンツは、紺色となりました。

リニューアルの目的の一つに、看護職員の働き方改革があります。「全日白衣」から、日勤・夜勤で看護衣を使い分ける「白・紺の2パターン」に変更します。これらの取り組みはすでに他施設でも行われており、職員の満足度も高いとの評判です。

当院でも日勤と夜勤で看護衣の色を区別することで、管理職や医師を含む他職種からも一目でわかり、業務の依頼や声かけなどのタイミングなど勤務時間に応じた適切な運用にもつながると期待しています。また、職員同士でも声を掛け合い、定時終了の意識が高まり、より一層適切な時間管理に寄与すると考えられます。

令和7年度より新しくなった看護衣に是非注目してください。ユニフォームの統一により、一層看護部としての団結力を高め、「患者に愛を、看護に心を」を体現できるよう看護師一丸となって頑張っていきたいと思います。

副看護部長 濱中 静香

最後の卒業式、新たな一步を踏み出した21期生

令和7年3月5日、当校の歴史に幕を閉じる最後の卒業式が盛大に挙行されました。在校生のいない静けさを包み込むように、ご来賓の皆様、学校・病院関係者、多くの保護者が温かい眼差しを向け、32名の卒業生の旅立ちを祝福しました。

送辞を述べる在校生がいないこの特別な式典で、私は担任として卒業生たちに「贈ることば」を伝えました。最後の学生という責任と重圧を背負いながらも、その立場に恥じないよう常に全力で学び続けた21期生。ステージから見える一人ひとりの表情は、これまでの努力を物語るように晴れやかで、自信に満ち溢れ、とても頼もしく感じられました。

21期生は、新たな時代の看護を担うべく、地域包括ケアシステムに対応したカリキュラムを学びました。患者様を病院という限定された空間だけでなく、地域で生活する一人の人間として捉え、その人らしい暮らしを支える看護を実践する判断力と行動力を

を培いました。

今後それぞれが歩む人生には、多くの困難や試練も待ち受けていることでしょう。しかし彼女たちはすでにそれを乗り越えるだけの力を身につけています。そして、周りには支えてくれる同僚や先輩、上司、そして家族がいます。多くの人々の愛情と期待を胸に、それぞれのペースでゆっくりと、しかし確実に未来へ向かって歩んでほしいと願っています。

看護学校教員 亀田 まゆみ



閉校記念式典を終えて ～本校卒業生としての誇りと自信を持って活躍を～

令和7年3月8日（土）、本校の85年の歴史に幕を下ろす「閉校記念式典」を、愛媛県副知事様、東温市長様、愛媛県看護協会会長様をはじめ、多くのご来賓の皆様や卒業生のご臨席のもと、盛大に挙行いたしました。

式典当日は歴任教職員の皆様も来校され、卒業生と当時を懐かしみ笑顔がこぼれ、学校内の様々なところに想いが溢れておりました。また、式典では一つ一つの事柄が心に深く刻まれ、感慨深いものがございました。

式典と同時に「感謝の集い・未来へつなぐ会」として学校見学会も行い、卒業生が小さな子どもと一緒に教室や実習室を見て回る姿に、温かさや未来への看護のつながりを感じました。また式典後の茶話会では講

師の方々から、卒業生の今後の活躍を期待するとともに、閉校を惜しむお言葉をいただき胸が熱くなりました。

本校は昭和14年傷痍軍人愛媛療養所附属看護婦養成所として開設され、時代のニーズに合わせて教育課程を変更しながら、2700名を超える卒業生を輩出してまいりました。本校は令和7年3月31日をもって閉校いたしますが、本校の歴史と看護の志は、これからも永く卒業生の心に受け継がれ、卒業生とともに発展し続け、本校の伝統として地域の皆様一人一人を支え続けていくものと信じております。これまでの永きにわたり本校の看護基礎教育に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

愛媛医療センター附属看護学校校長
阿部 聖裕



外来診療担当医表

現在、当院では外来診察室の工事を行っており、診察場所が変更となる場合があります。
診察場所について、ご不明な点があれば、医事受付窓口までお問い合わせください。

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船 田	吉 井	関 谷	岩 田	関 谷
		午後			船 田		
消化器内科	9診	午前	古 田	廣 岡	久 保		久 保
		午後					
	12診	午前				奥 平	
		午後				宮 崎	
糖尿病内科	9診	午前					
		午後					
	11診	午前			村 上		宮崎(第4)
		午後					
	10診	午前	阿 部	伊 東	佐 藤	三 好	伊 東
		午後					田 邊
	11診	午前		渡 邊		仙 波	
		午後					
	8診	午前					山 本
		午後	三 好				
脳神経内科	8診	午前	尾 原			尾 原	
		午後					
	12診	午前		戸 井			戸 井
		午後	大八木				
	14診	午前				石 川	
		午後				宮 本	
整形外科	15診	午前	宮 本		石 川		
		午後	青 木	玉 井	青 木		玉 井
消化器外科	14診	午前		鈴 木	森 本		
		午後					石 丸
呼吸器外科	14診	午前					湯 汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊 池		桑原(第1・3・4)		菊 池
					野間(第2)		

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来★院内紹介のみ	16診					泉 谷
脳神経外科★院内紹介のみ	14診		松本・大塚(午後)			
ペースメーカー外来	16診				第2・4(午後)	
フットケア外来	小児面談室				第1・3・5	
ペインクリニック	12診			山内(午前)		
アスベスト外来	14診		午 後		午 後	
息切れ外来	11診	渡邊(13:30~)				
S A S 外来	11診					渡邊(14:00~16:00)
頭痛外来	16診				永井(第2・4午前)	
神経難病	8診			橋 本		
鼠径ヘルニア外来	14診		鈴木(午前)			
気胸外来	14診					湯汲(午前)
N T M 外来	8診			第2・4(13:30~15:30)		

※S A S(睡眠時無呼吸症候群)、N T M(抗酸菌症)

※外来受付は8:30から11:00までです。午後は13:00から15:00までです。

※午後診療は呼吸器・循環器・消化器内科のみとなります。(脳神経内科・外科・整形外科の受付は11:00まで)

※予約外の受付は11:00までとなります。※予約の方は予約の時間までにご来院ください。

ただし、土・日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。休診につきましては、ホームページでご確認ください。

2025年4月1日現在

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解をいただいております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。